



2019年3月8日

各 位

会社名：株式会社 三城ホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 澤田 将広
 (コード：7455 東証第1部)
 問い合わせ先：取締役ファイナンス担当 中塚 哲郎
 (TEL. 03-6432-0732)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2018年5月15日に公表しました2019年3月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,078	551	672	△ 410	△ 8.03
今回修正予想 (B)	49,895	200	282	△ 986	△ 19.35
増減額 (B - A)	△ 1,182	△ 351	△ 389	△ 575	
増減率 (%)	△ 2.3	△ 63.7	△ 57.9	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2018年3月期)	50,406	270	463	△ 1,160	△ 22.70

2. 修正の理由

2019年3月期の通期連結業績につきましては、主要子会社であります(株)三城におきまして、不採算店舗の退店を当初計画より前倒しですすめていることや、台風や豪雨などの悪天候の影響で損壊したため、休業せざるをえなかった店舗があったことなどにより、売上高が当初予想を下回るなか、1月、2月もその傾向が改善するまでに至らなかったことが修正の主な理由です。

また、店舗ブランドの想起を上げるためのTVCMを放映し、郊外店の改革を目的とした改装および店舗の統廃合を推しすすめていることなどにより、既存店舗の売上高は前年を上回ってきております。このような将来を見据えた設備投資および経費につきましては、店舗数は純減しているものの、削減せず計画どおりにすすめていることもあって、利益を圧迫する結果となりました。

その結果、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益も予想値を下回る見込みです。なお、配当予想につきましては、前回公表値から変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上